

令和4年5月26日

山口県教育委員会会議議案

山口県教育委員会

付議案件

議案

資料①

番号	件名	主管課	
1	山口県教育委員会表彰規則による表彰について（報告承認）	教育政策課	p 2

報告事項

番号	件名	主管課	
1	令和5年度（2023年度）山口県公立学校教員採用候補者選考試験の実施について	教職員課	p 3
2	令和4年度全国学力・学習状況調査の実施について	義務教育課	p 8
3	令和4年3月新規高等学校等卒業者の就職内定状況等について	高校教育課	p 23
4	令和4年度やまぐちの活力を支える高校生就職支援事業について	高校教育課	p 24

協議事項

番号	件名	主管課	
1	県立高校の再編整備について	高校教育課	p 25
2	山口県教育支援委員会委員の任命について	特別支援教育推進室	p 28

議案第1号

山口県教育委員会表彰規則による表彰について(報告承認)

山口県教育委員会表彰規則(昭和61年山口県教育委員会規則第6号)第2条の規定に基づき、令和4年度教育功労者を次のとおり決定したので報告し、承認を求めます。

令和4年(2022年)5月26日

山口県教育委員会
教育長 繁吉 健志

永年精勤の部(表彰規則第2条第6号)

所属名	職名	氏名	勤務年数	備考
岩国市立 中洋小学校	教諭	森本 理江	28年	令和4年4月13日 退職

令和5年度(2023年度)山口県公立学校教員採用候補者選考試験の実施について

1 選考区分、志願区分(校種等)、教科(科目等)及び採用見込者数

(1) 選考区分及び志願区分(校種等)

ア 一般選考

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校小学部・中学部・高等部、養護教諭の区分で実施する。

イ 障害者を対象とした選考

一般選考において実施する全ての志願区分(校種等)において実施する。

ウ 教職大学院修了見込者特別選考

一般選考において実施する全ての志願区分(校種等)において実施する。

エ 社会人特別選考

一般選考の小学校、中学校及び高等学校の試験を実施する教科(科目等)において実施する。

オ スポーツ・芸術特別選考

中学校の保健体育、音楽及び美術並びに高等学校の保健体育及び芸術(音楽、美術)において実施する。

カ 山口県教師力向上プログラム修了者特別選考

小学校において実施する。

キ 博士号取得者特別選考

高等学校の理科(物理、化学、生物)において実施する。

ク 看護科教諭特別選考

高等学校の看護において実施する。

※ 一つの選考区分、志願区分(校種等)に限り志願できる。

中学校及び高等学校並びに特別支援学校の中学部及び高等部にあつては、一つの教科(科目等)に限り志願できる。

ただし、以下の1～10に示す組合せについては併願が可能(いずれか一つの組合せに限る)。

なお、4～10については、第一志願と第二志願を逆にした組合せによる併願も可能。

	選考区分	第一志願	第二志願
1	一般選考	中学校	小学校
2	一般選考	特別支援学校小学部	小学校
3	一般選考	特別支援学校中学部	小学校
4	一般選考	中学校音楽	特別支援学校中学部音楽
5	一般選考	中学校美術	特別支援学校中学部美術
6	一般選考	高等学校芸術(音楽)	特別支援学校高等部芸術(音楽)
7	一般選考	高等学校芸術(美術)	特別支援学校高等部芸術(美術)
8	スポーツ・芸術特別選考	中学校保健体育	高等学校保健体育
9	スポーツ・芸術特別選考	中学校音楽	高等学校芸術(音楽)
10	スポーツ・芸術特別選考	中学校美術	高等学校芸術(美術)

(2) 教科(科目等)及び採用見込者数

全体370人程度 [昨年度370人程度]

採用見込者数の算定に当たっては、退職者数、児童生徒数の推移等を考慮した。

ア 一般選考

小学校	173人程度	[昨年度173人程度]
中学校	100人程度	[昨年度86人程度]
	○ 国語 19人程度	
	○ 社会 20人程度	
	○ 数学 10人程度	
	○ 理科 11人程度	
	○ 音楽 4人程度	
	○ 美術 3人程度	
	○ 保健体育 9人程度	
	○ 技術 3人程度	
	○ 家庭 2人程度	
	○ 外国語(英語) 19人程度	
高等学校	58人程度	[昨年度67人程度]
	○ 国語 3人程度	
	○ 地理歴史	
	世界史 1人程度	
	日本史 1人程度	
	地理 2人程度	
	○ 公民	
	政治・経済 1人程度	
	○ 数学 9人程度	
	○ 理科	
	物理 2人程度	
	化学 2人程度	
	生物 3人程度	
	○ 保健体育 5人程度	
	○ 芸術	
	音楽 1人程度	
	美術 1人程度	
	○ 外国語(英語) 9人程度	
	○ 家庭 2人程度	
	○ 情報 2人程度	
	○ 農業	
	農業畜産系 1人程度	
	土木造園林業系 1人程度	
	○ 工業	
	機械系 2人程度	
	電気系 3人程度	
	土木建築系 2人程度	
	化学工業系 2人程度	
	○ 商業 3人程度	
特別支援学校	小学部 9人程度	[昨年度9人程度]
	中学部 各教科1人程度を原則とし、 合計9人程度	[昨年度9人程度]
	○ 国、社、数、理、音、美、保、技、家、外(漢)	
	高等部 各教科1人程度を原則とし、 合計6人程度	[昨年度6人程度]
	○ 国、地歴(世、日、地)、公(政・経)、数、理(物、化、生)、保、芸(音、美)、外(漢)、家、情、福	
養護教諭	5人程度	[昨年度10人程度]

※採用者数は、退職者数の状況等により変更することがある。

- イ 障害者を対象とした選考
全ての志願区分（校種等）全体で9人程度 [昨年度 9人程度]
- ウ 教職大学院修了見込者特別選考
前頁「ア 一般選考」の採用見込者数に含む。
- エ 社会人特別選考
小学校、中学校、高等学校とも前頁「ア 一般選考」の採用見込者数に含む。
- オ スポーツ・芸術特別選考
中学校、高等学校とも前頁「ア 一般選考」の採用見込者数に含む。
- カ 山口県教師力向上プログラム修了者特別選考
前頁「ア 一般選考」の採用見込者数に含む。
- キ 博士号取得者特別選考
前頁「ア 一般選考」の採用見込者数に含む。
- ク 看護科教諭特別選考
高等学校の看護で1人程度 [昨年度 1人程度]

2 出願受付期間

- (1) インターネットによる出願
5月12日（木）から5月31日（火）午後5時まで
- (2) 郵送による出願（インターネットによる出願が困難な場合に限る）
5月12日（木）から5月31日（火）まで
※5月31日の消印のものまで有効

3 選考試験期日

- (1) 第一次試験
7月9日（土）及び10日（日）
- (2) 第二次試験
8月20日（土）及び21日（日）
なお、小学校については、上記に加えて21日（日）から23日（火）のうち指定した1日で個人面接を実施（8月27日（土）、8月28日（日）を、悪天候等で小学校個人面接が実施できなかった場合の予備日とする。）

4 選考試験会場

- (1) 第一次試験
 - ア 山口会場・・・・・・・・・・山口高校、山口中央高校、西京高校
 - イ 関西会場（大阪府大阪市）・・・CIVI研修センター新大阪（北）
 - ウ 東京会場（東京都千代田区）・・・NATULUCK飯田橋東口駅前店
- (2) 第二次試験
山口高校、山口中央高校、西京高校、山口農業高校

5 選考試験内容

- (1) 第一次試験
 - ア 一般選考、障害者を対象とした選考、教職大学院修了見込者特別選考、社会人特別選考、山口県教師力向上プログラム修了者特別選考及び博士号取得者特別選考
 - ・教職専門（教職大学院修了見込者特別選考、社会人特別選考、山口県教師力向上プログラム修了者特別選考及び博士号取得者特別選考の志願者以外の者）
 - ・教科専門
 - ・特別支援教育専門（特別支援学校志願者及び特別支援学校を第二志願とする者）
 - ・実技（小学校及び特別支援学校小学部の志願者を除く）
 - ・集団面接（討議）（教職大学院修了見込者特別選考及び山口県教師力向上プログラム修了者特別選考の志願者以外の者）

イ スポーツ・芸術特別選考及び看護科教諭特別選考

個人面接、集団面接（討議）

(2) 第二次試験

適性検査、小論文、集団面接（模擬授業及び討議）、個人面接、実技（小学校、特別支援学校
小学部の志願者及び小学校を第二志願とする者）

※ 障害等のある志願者から受験上の配慮や採用後の配慮の希望があった場合は、障害の状態等に応じて必要な配慮について、志願者と話し合いの上、決定する。ただし、内容によっては配慮できない場合もある。

受験上の配慮例：実技試験の免除、問題・解答用紙の文字の拡大、試験時間の延長 等

採用後の配慮例：可能な範囲での設備改修

6 選考試験結果の発表

(1) 第一次試験結果の発表予定

8月3日(水) 午前9時

(2) 第二次試験結果の発表予定（採用候補者名簿掲載予定者の発表）

10月4日(火) 午前9時

7 令和5年度山口県公立学校教員採用候補者選考試験の主な変更点

- 受験年齢の上限の引上げ
- 高等学校及び特別支援学校高等部の情報の出願要件の見直し
- 社会人特別選考（高等学校情報）における特別免許状の活用
- スポーツ・芸術特別選考におけるスポーツ分野の対象種目の見直し
- スポーツ・芸術特別選考における特別免許状の活用
- 選考に当たっての考慮事項の追加

8 実施要項の請求等について

(1) ダウンロードによる取得方法

下記URL又は右記QRから山口県教育庁教職員課のウェブページ
（教員採用試験専用ページ）にアクセスしてダウンロード

URL： <https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/178/26366.html>



(2) 郵便による請求方法

山口県教育庁教職員課に請求

封筒の表に「実施要項請求」と朱書きし、住所、氏名（〇〇様とする。）及び郵便番号を明記し
140円分の切手を貼った返信用封筒（角形2号：縦33cm、横24cmのもの）を必ず同封し、山口
県教育庁教職員課（郵便番号 753-8501 山口市滝町1番1号）宛てに送付

(3) 配布場所

山口県庁（受付、中央県民相談室及び山口県教育庁教職員課）、山口県内各総合庁舎（地方県
民相談室等）、山口県東京事務所、山口県大阪事務所、山口県内各市町教育委員会

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、窓口での受取りを極力避け、ダウンロードによ
る取得又は郵便による請求を行うこと。

9 その他

(1) 緊急連絡について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために試験実施に関する変更が生じる場合等は、山口県
教育庁教職員課のウェブページ（教員採用試験専用ページ）に内容を掲載するとともに、「緊急
連絡メール」により周知するので、出願の際に、受信のための登録をする。

(2) 教員採用試験説明会について

志願者確保のため、教員採用候補者選考試験説明会をオンラインを中心に実施した。

ア 説明会の概要

- (ア) 山口県教育委員会あいさつ
- (イ) 令和5年度山口県公立学校教員採用候補者選考試験について
 - ・令和5年度の主な変更点
 - ・具体的な採用見込者数、選考試験の日程、受験申込方法等
- (ウ) 山口県の教育について
- (エ) 現職教員による体験談（オンライン会議システムによる発表）
- (オ) 質疑応答

イ 日時及び参加者数等

日時	会場名等	現職教員による体験談	参加者数
5月12日（木）16:20～17:20	山口県立大学会場	高等学校教諭（英語）	15名
5月13日（金）17:00～18:00	オンライン説明会①	小学校教諭	30名
5月14日（土）13:00～14:00	オンライン説明会②	特別支援学校教諭（小学部）	9名
5月14日（土）15:00～16:00	オンライン説明会③	中学校教諭（数学）	35名
5月15日（日）9:00～10:00	オンライン説明会④	養護教諭	39名
5月15日（日）11:00～12:00	オンライン説明会⑤	小学校教諭	41名
5月16日（月）14:30～15:30	福岡教育大学会場	小学校教諭	5名
5月17日（火）17:00～18:00	オンライン説明会⑥	高等学校教諭（数学）	20名
5月18日（水）17:00～18:00	オンライン説明会⑦	中学校教諭（保健体育）	19名
5月19日（木）14:30～15:30	広島大学会場	高等学校教諭（理科）	5名
5月21日（土）13:00～14:00	オンライン説明会⑧	高等学校教諭（家庭）	32名

参加者数計 250名

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査対象

小学校第6学年、特別支援学校小学部第6学年

中学校第3学年、中等教育学校前期課程第3学年、特別支援学校中学部第3学年

3 調査実施日

令和4年4月19日（火）

4 調査内容

(1) 教科に関する調査（小学校…国語、算数、理科 中学校…国語、数学、理科）

- 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とする。
- 出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。
 - ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
 - ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等
- 調査問題では、上の①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

- 児童生徒に対する調査
 - ・ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査
- 学校に対する調査
 - ・ 指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

5 調査実施学校数および参加児童生徒数

- 調査実施学校数 計 404校
 - ・ 小学校261校（1校は後日実施、1校は未実施）
 - ・ 中学校137校（1校は未実施）
 - ・ 中等教育学校1校
 - ・ 特別支援学校5校
- 参加児童生徒数 計 約22,000人
 - ・ 小学校 約11,000人
 - ・ 中学校 約11,000人

※ 実施学校数は、県立および市町立学校のみ。

※ 特別支援学校の内訳は、小学部2、中学部3。

II 調査問題の概要

1 教科に関する調査

小学校国語

14問

- 地域のためにできることについて話し合う場面や「6年生としてがんばりたいこと」を書く場面など、日常生活の場面と関連付けられた設定が示されている。
- 話合いで出た意見を基に自分の考えをまとめる問題、文章全体の構成や展開などに着目して文章のよいところを見付ける問題などが出題された。

【特徴的な問題例】

物語から伝わってくることをまとめる問題

2

森田さんの手紙では、不思議な出来事が描かれている。物語を読み、友達とせいせんし合うことになりました。森田さんは、「旅色の幻想」という題名の物語を選んで読んで、気に入るところにふせんをはっています。次は、「物語のこれまでのあらすじ」と「物語の二部」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【物語のこれまでのあらすじ】

学校の帰り、自分と同じ名前の子の日記のKと横線を引いた。その本の入口に近づくと、ドアが重く開き、カウンターのすみに座っている老人が、おけにをれを軽く「まあ。」と手をあげた。席の中は、宇宙船などの機材で占められていた。

【物語の二部】

部Aから部B、……部Cまで。あとの問いで取り上げられます。

「ここ、宇宙ものの専門店なの？」

とさくと、老人は、

「まあ、そうだ。わしは、他のものには興味がないもんでな。」

「へえ、ばくもそう？」

ばくは、うれしくなって、ランドセルを席におと、機材に手をのびした。

「展示品にさわってもいい？」

「もちろん。」

ばくは、眼鏡の奥で老人は、目を細めた。

「いまま、さんが手にしたやつを、なかなかの出来ださう。科学的なデザインはわしが考えたんじや。」

それは、全長七センチ、幅三センチほどの箱型の宇宙船の模型で、船体の真ん中についた大きな窓も、アネキ、窓の周囲には、細かい宇宙船の機材をくりこみだした。

「これ、もしかしたら二人乗り？」

「そうだよ。」と、老人は、こともなげに言った。

「でさ、操縦室のほかに、キョービンひとつ、お風呂とトイレとキッチンがついている？」

「さよう。」

「二乗分の食料がつめる貯蔵室は？」

「あるよ。」

老人は得意そうにうなづいた。

「すごいや。」

ばくは、その様子を見ようと、模型の窓のすぐこんだ。船体のサイドがかけられていて、はつきりとほしをみかけた。ソファやテーブルが見えた。

「いいなあ、こんなのではんどうに熱べたらなあ。」

「この宇宙船は、星と星を結んだり、遊覧と乗客をいったりきたりすることができると。」

と、老人は言う。

ばくはうつつとうつつと、

「一億年前の歴史にも会ってみたいし、一千年後の未来都市も見たい。それがばくの夢だった。」

と、老人は言った。

「ただ、時間の壁を破るには、ものすごいスピードが必要なのじや。超光速とってな、光よりも速く飛ばなければならぬ。」

「じゃあ、どうやって、超光速を実現すればいいの？ ようし、いつかばくが作るの？」

「ねえ、おじいちゃん、この機材はいくらくらいするの？」

これだけ機材をものだらたら、ずいぶん高いにちがいない。船体も大きいわりには、軽くてふつうのプラモデルより、ずいぶん重たそうだった。お金をはたいても買えるかどうか。

「大学の研究室で買ったからなあ。」

と、老人は、うんざりして、重宝をばいた。イぼくは、船体の機材の表面表示板のすぐこんだ。表示板には、


「ばくには、せんぜんがでないや。」

と、うなだれている。老人は、ばくの箱をなだいて、

「機材よりも、本物を見たいかい？」

ふせん

森田さん



(問題の続き)

「ほんものつ」
 「夏のカレージにある。」
 「ぼくは気が紛れちゃった。」
 「ほんものつ」
 「まあ、ついておいで。」
 「老人は、ロケットに悪戯を頼むと、よつらしよつと立ちあがり、裏口を叩いて、ぼくを呼び寄せた。」
 「ぼくは野原に立って、いちめんススキの海の中にビニールのドーム型カレージがあった。」
 「老人は、ススキの穂をかきわけて進んだ。」
 「かすかに秋の花の匂いがした。」
 「カレージはすいぶん大きなもので、老人がバチッと指を二回鳴らすと、ドームの屋根が左右にゆっくりと開いていった。」
 「朝の光を浴びた銀色の船体が横たわっている。ゆるやかな曲線が、午後の日差しをほんしやしてまばゆく輝いた。」
 「バチッと老人の指がもう一度、鳴った。」
 「すると、船体からタラップが伸びてきて、ドアがあいた。」
 「ぼくは、老人のあとから宇宙船に足を踏み入れた。」
 「通路をばさばさ歩いて、老人とコックピットに分かれていく。」
 「ぼくの声は、少し震えていた。」
 「老人はにっこりした。」
 「コックピットは、とてもシンプルだった。リクタイニク式の操縦席の前面のパネルには、コンピュータが埋めこまれて、ぶいんと小さな視覚表示をたてていた。」
 「キヤビンは緑色で、暖かみのある空間で、六畳ほど、ベッドをかけたソファがふたつ並んで置かれ、真ん中に操縦席の椅子がある。」
 「そして操縦席の隣には、一枚の老人のポートレートが飾られてあった。」
 「写真の老人は、まよんとしたタンクトップを着て、まよんかえって来たけれど、まさしくぼくの隣にいる老人だった。」
 「これは、わしが、超光速推進(ハイパースペース)装置の発明によって、賞をもらったときの写真なんだ。授賞式が六十九歳の誕生日と重なったりしたもんだから、記念に撮ってもらったんだよ。」
 「へえ、おじいちゃんには有名人なんだね。」
 「ぼくは喜ぶ。ポートレートの額縁に刻まれた文字を見て、どきどきした。」
 「(ヒロキ・タチバナ教授・科学アカデミー賞受賞記念)とあったのだ。」
 「ぼくと同じ名前だ。」
 「おじいちゃん、そんなことは世間ではいくらでもあるが、やはり、ぼくは老人にやらせぬ運命を預けて、笑いかけた。」
 「宇宙船の外に出ると、老人は言った。」
 「このワンドーボーボース、気に入ったかね? この船を見せたかったんだよ。」
 「ワンドーボーボース、それは、ぼくが博士の時代に作った宇宙船、赤糸から赤糸へ、赤糸から赤糸へ、赤糸の道を越えて自由に飛翔するあの宇宙船に、ひそかに付けた名前だ。念のため、教えたいことがあるんだけど。」
 「ぼくはききうに不安を感じて、立ちどまった。」
 「おじいちゃん、老人は六十歳まで生きてきたんですか?」
 「そのとさ、老人が、うしろで、」
 「じやあな。」
 「どつどつやいたよだった。」
 「ふりかえると、老人も、宇宙船も、操縦席もあとかたもなく消えていた。」
 「ただ、透明な窓の外のなかで、ススキの穂が銀色に光り、風にそよんでいるだけだった。」

「赤糸の物語」(藤田洋一)

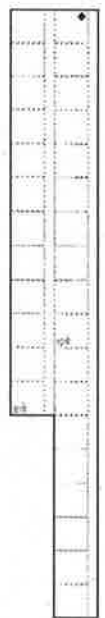
二 藤田さんは、物語から伝わってくることをまどめ、せいせんする文章を書いていきます。次は、「藤田さんの文章」です。あなたが藤田さんなら、Aに入る内容を、どのように書きますか。おどの条件に合わせて書きましょう。

【藤田さんの文章】

これは、過去や未来にいけるうちう船を作りたいと想っている「ぼく」と、そんなうちう船を作った「老人」の物語です。
 この物語は、「老人」が未来の「ぼく」かもしれないと思われる表現をさかして読む楽しみを味わうことができます。それだけでなく、この物語を読むと、わたしは素晴らしい未来になります。なぜかというと、「老人」に出会った「ぼく」を通して、この物語がわたしに伝わってくるからです。それは、

A

- この物語から伝わってくることを考えて書くこと。
- 十字以上、三十字以内にとめて書くこと。



※ この物語は、下書き用紙で、決まった場所には書きません。解答は、解答用紙に書きましょう。
 ※ 印の印から書き始め、どこまで行っても構いません。途中で書き止めても構いません。

[正答例]
 二(例) 夢を持ち続けられれば、いつかなえられるということです。(26字)

- 図形を構成する要素に着目して、図形の意味や性質について問う問題や、図形の意味や性質を基に図形の構成の仕方について考察する問題などが出題された。
- 割合を使ってジュースに含まれる果汁の量を算出する問題や、お楽しみ会のアンケート調査の結果について、表やグラフを使って考察する問題などが出題された。

【特徴的な問題例】

プログラムをつくって図形をかくための命令を正しく書き直す問題

4

コンピュータは、いろいろな命令を順序よく組み合わせて動かすことができます。この命令の組み合わせを「プログラム」といいます。

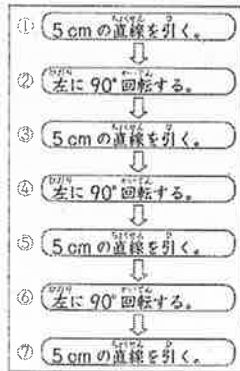
はなこさんたちは、プログラムをつくり、いろいろな図形をかこうとしています。



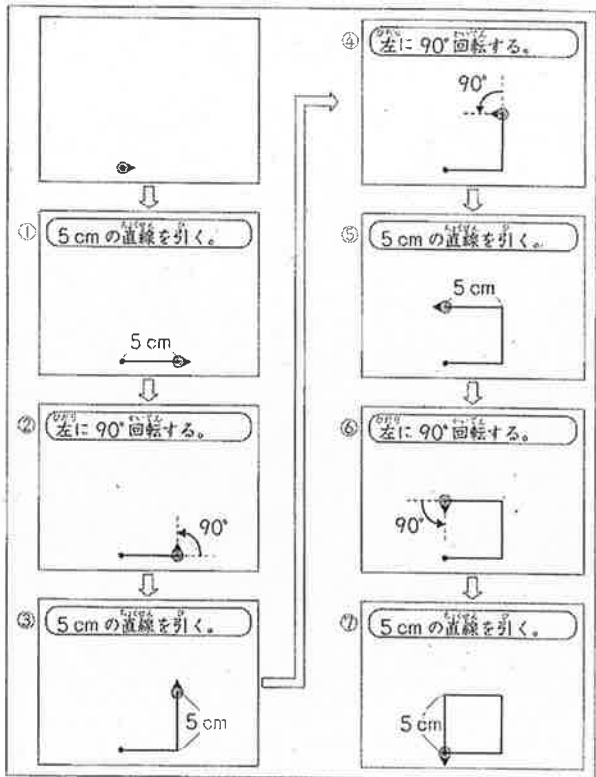
まず、正方形をかきましょう。正方形は、4つの角が直角で、4つの辺の長さが等しい四角形ですね。

1辺が5cmの正方形をかくために、正方形のプログラムをつくりました。このプログラムを実行すると、右のように、スタート位置(・)から命令ごとに、→が→の方向に進みながら直線を引いたり、矢印(↶)の向きに回転したりして、正方形をかくことができます。

正方形のプログラム



小算-19



小算-20

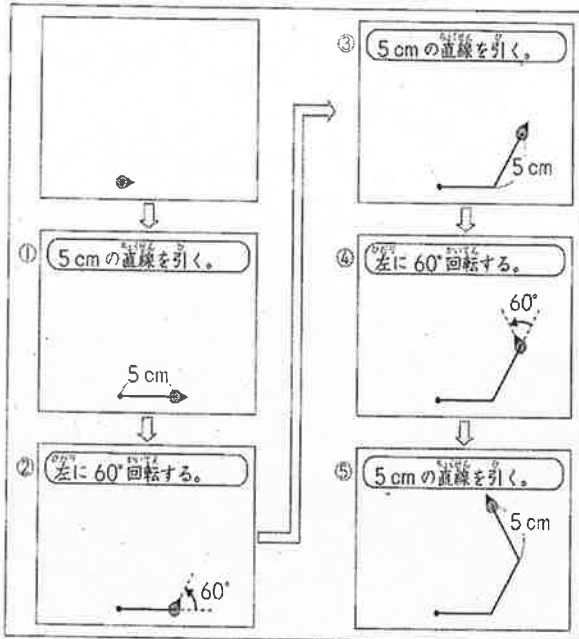
(問題の続き)

(1) はなこさんたちは、1辺が5cmの正三角形をかこうとしています。



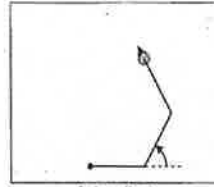
正三角形は、3つの辺の長さが等しくて、3つの角の大きさがすべて60°の三角形ですね。

はなこさんは、正方形のプログラムをもとにして、正三角形をかいたためのプログラムをつくり、実行しました。

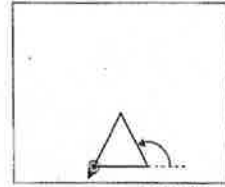


小算-21

はなこさんは、下のかこうとした正三角形をかくことができませんでした。



実際の結果



かこうとした正三角形

そこで、つくったプログラムを見直すことにしました。

つくったプログラム

- ① 5cmの直線を引く。
- ② 左に60°回転する。
- ③ 5cmの直線を引く。
- ④ 左に60°回転する。
- ⑤ 5cmの直線を引く。



5cmの直線を引く。
左に60°回転する。
2種類の命令のうち、
どちらかの命令を直すと
かこうとした正三角形が
できますね。

かこうとした正三角形をかくには、どちらの命令を直すとよいですか。
下のアとイから選んで、その記号を書きましょう。また、その選んだ命令を、言葉と数を使って、正しい命令に書き直しましょう。

- ア 5cmの直線を引く。
- イ 左に60°回転する。

小算-22

[正答例] (1) イ
(例)左に120°回転する。

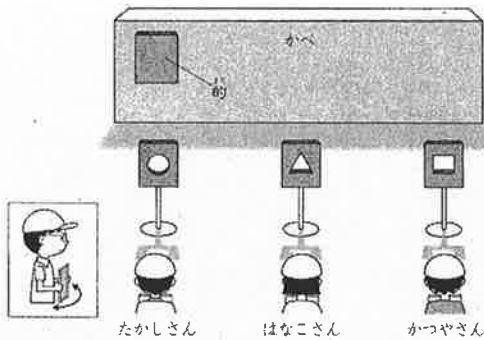
- 身の回りの生物の観察を基に、昆虫の成長について答える問題や、季節や天気、時間帯における気温の違いについて、表やグラフから必要な情報を読み取り答える問題が出題された。
- 提示された情報を、複数の視点で分析して解釈し、自分の考えを問う問題や、観察などで得た結果を他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えを問う問題が出題された。

【特徴的な問題例】

問題解決に取り組む学習過程を取り上げ、自分の予想が正しいかを確認する実験方法を考え、実験の過程で生じた不具合に対して、実験方法を見直す問題

3

たかしさんたちは、晴れた日に科学クラブで、同じ大きさの鏡を使い、日光をはね返して、的あてゲームをしました。



上の図のように、3人とかべの間に、それぞれ、円形、三角形、四角形に切りぬいた、鏡と同じ大きさの段ボールの板を置きました。

(1) 3人が上の図の位置で鏡の向きを変え、それぞれが日光をはね返して、3つの段ボールの板にあてたときに、かべの左にある的に、三角形の光をあてることができるのはだれですか。下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 たかしさん
- 2 はなこさん
- 3 かつやさん
- 4 全員

小理-14



はね返した日光が2つ重なると、重なった部分が明るくなったね。



はね返した日光が2つ重なって明るくなった部分は、温度が高そうだね。



はね返した日光が3つ重なると、さらに温度が高くなると思うよ。

たかしさんたちは、切りぬいた段ボールの板をとり除き、次のような【問題】を実験の【方法】を決めて、調べることにしました。

【問題】
鏡ではね返した日光を重ねるほど、的の温度は高くなるのか。

【予想】
はね返した日光を重ねるほど、明るくなるので、的の温度も高くなると思う。

【方法】

①段ボールの板のすき間に温度計をさしこんだのを、4つつくる。
②かべに①の的をはり、日光をあてる前の的の温度をはかる。
③鏡ではね返した日光を的にあて、3分後の的の温度をはかる。

小理-15

【正答】 (1) 3

(問題の続き)

(2) 実験をしながら、【結果】を記録しました。【問題】を解決するために最も適切な記録はどれですか。下の 1 から 4 までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1

【結果】 (はじめの時の温度 23℃)

- 鏡3枚のときが、どれよりも明るく、時の温度が高かった。
- 日光を重ねると、温度がとてま上がったので、日焼けがすこいと思った。

2

【結果】 (はじめの時の温度 23℃)

鏡の枚数	3分後の時の温度
0枚	23℃
1枚	32℃
2枚	40℃
3枚	51℃

3

【結果】 (はじめの時の温度 23℃)

鏡3枚	
時間	時の温度
1分後	35℃
2分後	46℃
3分後	51℃

4

【結果】 (はじめの時の温度 23℃)

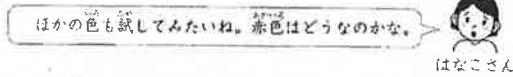
- 鏡0枚 日光があたっていないので暗い
- 鏡1枚 明るい
- 鏡2枚 1枚のときよりも明るい
- 鏡3枚 この中で最も明るい

[正答] (2) 2

次に、たかしさんたちは、日光をはね返して調理する動画を見て、先生とやってみることにしました。



調理に使うなべは、黒色がよいと言っているよ。黒色があたまりやすいのかな。



ほかの色も試してみたいね。赤色はどうなのかな。



色をつけた空きかんに水を入れて、温度をはかろう。【問題】が見つかったね。

【問題】

はね返した日光を水の入ったかんにあてると、何色のかんの水の温度が最も高くなるのか。

たかしさんたちは、次のような実験をしました。

【方法】

固定した温度計

空きかん

- 同じ種類、同じ大きさの空きかんに色をぬる。(黒色、赤色、青色、白色)
- それぞれの空きかんに、同じ量の水を入れ、温度計をとりつける。
- はね返した日光をかんにあて、0分、20分後、40分後のかんの中の水の温度をはかる。

(3) 10分後、かんのようすを見ると、はね返した日光の位置がずれていることに気づきました。



はね返した日光がかんにあたっていないと、正しい実験にならないね。

鏡にさわっていないのに、はね返した日光の位置がずれるということは、太陽の位置が変化しているんだ。実験の【方法】を見直さないとけないね。

たかしさんたちは、実験の【方法】を見直して、手順④を加えました。下の にあてはまることばを書きましょう。

【方法】

- はね返した日光をかんにあて、0分、20分後、40分後のかんの中の水の温度をはかる。
- なお、太陽の位置の変化に合わせて、はね返した日光がかんにあたるように、 を変える。

実験の【結果】は、下の表のようになりました。

【結果】 (かんの色による水の温度の変化)

かんの色 \ 時間	0分	20分後	40分後
黒	24℃	28℃	32℃
赤	24℃	27℃	29℃
青	24℃	27℃	30℃
白	24℃	25℃	26℃



【問題】に対するまとめは、「はね返した日光を水の入ったかんにあてると、黒色のかんの水の温度が最も高くなる。」といえる。

(4) はなこさんが、下線部のようにまとめたわけを上【結果】を使って書きましょう。

[正答例] (3) 鏡の向きか、かんの位置
 (4) (例) 黒色のかんの水の温度は、40分後には32℃で、ほかの色のかんの水の温度よりも高いから。

- 文書作成ソフトの利用を想定した場面や、最近気になったことについてスピーチをする場面など、日常生活の場面と関連付けられた設定が示されている。
- 自分の考えを分かりやすく伝えるために話し方の工夫を考える問題や、実際の学習場面や学校生活での活用を想定した問題が出題された。

【特徴的な問題例】

自分の考えが伝わる文章になるように、Web ページにある資料を引用して文章を書く問題

2 小林さんは、国語の時間に、「先端技術との関わり方」というテーマで意見文を書いています。次は、文書作成ソフトを使って小林さんが書いた「意見文の下書き」と友達が書いた「コメントの一部」、小林さんがコメントを受けて集めた【農林水産省のウェブページにある資料の一部】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【意見文の下書き】

私たちの生活は、先端技術により、わずかな期間で大きく様変わりしてきている。便利なことが増えてよいと感じるが、目的に応じて選択して活用することが大切だと思う。

そう考えるようになったのは、農業を営み、広大な農地を二人で管理している祖父母に、スマート農業についての話を聞いたからだ。祖父母は、今年に入ってからロボットトラクタを導入し、作業の一部を自動化した。そのおかげで、農地を耕したり種をまいたりすることに加え、草を取りのぞく作業も効率よく進むようになったという。負担が軽減したことをよこんでいる祖父母に、他に取り入れているものはないかを聞いてみた。すると、「スマート農業に関連する様々な先端技術はあるが、これまでの経験を生かして対応できるので、他には取り入れていない」とのことだった。スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。しかし、祖父母は、自分たちに必要なものを選択して活用していた。

これは、私たちも意識しなければならないことだと思った。今後、身の回りには様々な先端技術がさらに普及していこう。私も祖父母のように、目的に応じて選択しながら先端技術を活用していきたい。

【コメントの一部】

- 上野
他にどのような効果があるのかを具体的に書いた方がよいのではないだろうか。
- 中村
私も同感です。スマート農業の効果を書き加えることで、小林さんが、自分の考えの根拠として示しているこの段落の内容が分かりやすくなると思います。

【農林水産省のウェブページにある資料の一部】

スマート農業について

「農業」×「先端技術」＝「スマート農業」

「スマート農業」とは、「ロボット、AI、IoTなど先端技術を活用する農業」のこと。

→「生産現場の課題を先端技術で解決する！農業分野におけるSociety5.0[※]の実現」

※Society5.0：政府が提唱する、テクノロジーが進化した未来社会の姿

スマート農業の効果

- ① 作業の自動化
ロボットトラクタ、スマホで操作する水田の水管理システムなどの活用により、作業を自動化し人手を省くことが可能に
- ② 情報共有の簡易化
位置情報と連動した経営管理アプリの活用により、作業の記録をデジタル化・自動化し、熟練者でなくても生産活動の主体になることが可能に
- ③ データの活用
ドローン・衛星によるセンシングデータや気象データのAI解析により、農作物の生育や病虫害を予測し、高度な農業経営が可能に

(農林水産省ウェブページによる。)

(注1) AI＝人工知能。

(注2) IoT（アイオーティー）＝自動車や電化製品などの様々なものがインターネットに接続されているシステム。

(注3) センシングデータ＝センサーを利用して計測・判別し、収集した情報。

(問題の続き)

三 小林さんは、上野さんと中村さんからの【コメントの一部】を踏まえて、で囲まれた「スマート農業には、作業を自動化すること以外の効果もあるようだ。」のすぐあとに、スマート農業の効果を書き加えることにしました。あなたならどのように書き加えますか。条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1と条件2にしたがって書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 「農林水産省のウェブページにある資料の一部」から必要な情報を引用して書くこと。引用する部分は、かぎかっこ「」でくくること。

条件2 「例えば」に続けて書くこと。

※ 次のページの枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

例えば、

[正答例]

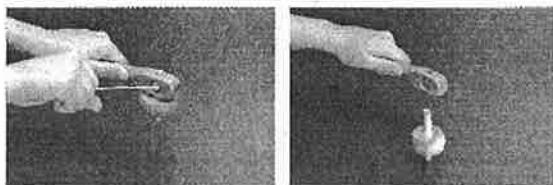
三(例) (例えば、) 農林水産省のウェブページにある資料には、作業の自動化以外に「情報共有の簡素化」と「データの活用」が示されている。

- 2つの偶数の和の性質について文字式を用いて考察する問題や、与えられた図形の性質について統合的・発展的に考察する問題が出題された。
- 与えられた情報を読み、事象の特徴を的確に捉え、問題解決の方法を数学的に説明する問題等が出題された。

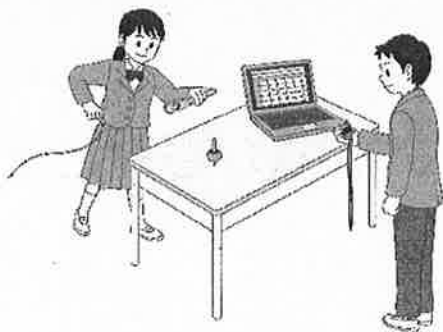
【特徴的な問題例】

「データの活用」の領域で、ヒストグラムの特徴を比較して説明する問題や、箱ひげ図を使って考察した後、事象に即して解釈する問題

7 学級でコマ回し大会をします。この大会では、次の図のようなひもを引いて回すコマを使って一人1回コマを回し、最も長い時間コマを回した人を優勝とします。



大地さんと葉月さんは、コマAとコマBのうち、どちらのコマを使うかを検討することにしました。



次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

- (1) 二人は、どちらのコマがより長い時間回りそうかを調べるために、2つのコマを20回ずつ回し、それぞれのコマが回った時間のデータを集めました。そして、それぞれのデータについてヒストグラムをつくり、それらを比較して考えることにしました。

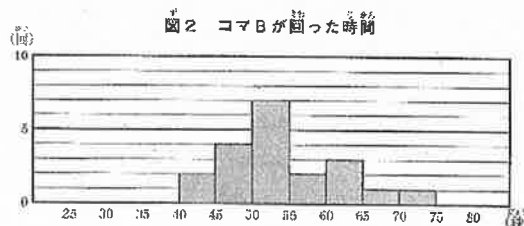
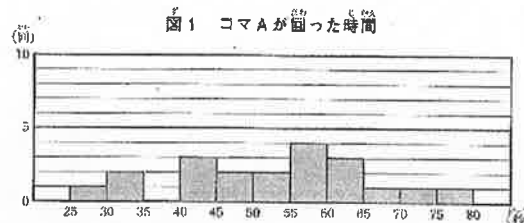


図1、図2のヒストグラムの特徴をもとに、より長い時間回りそうなコマを選ぶとすると、あなたならどちらのコマを選びますか。下のア、イの中からどちらか一方のコマを選びなさい。また、そのコマを選んだ理由を、2つのヒストグラムの特徴を比較して説明しなさい。どちらのコマを選んで説明してもかまいません。

- ア コマA
- イ コマB

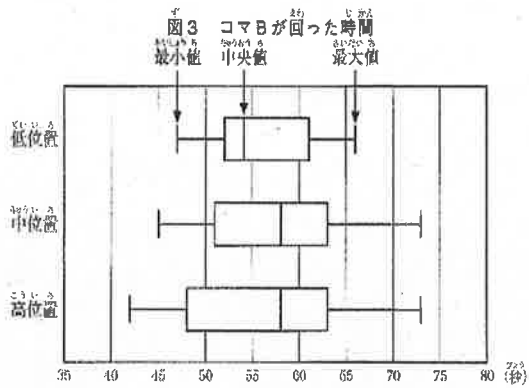
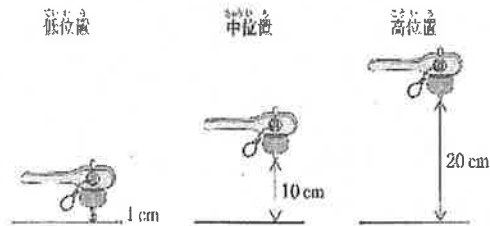
[正答例]

(1)ア

(例) コマAの回った時間の方がコマBの回った時間より5秒以上の階級の度数の合計が大きいので、コマAの方がより長い時間回りそうなコマである。だから、コマ回しの大会ではコマAを選ぶ。

(問題の続き)

(2) 大地さんはコマAを、葉月さんはコマBを選びました。コマを回す練習をしていた葉月さんは、コマを回す高さによって回る時間に違いがあるのではないかと考えました。そこで、次の図のように、1 cmの高さを低位置、10 cmの高さを中位置、20 cmの高さを高位置として、それぞれの位置から20回ずつコマBを回し、コマBが回った時間のデータを位置ごとに集めました。そして、それぞれのデータの散らばりの程度を比較するために箱ひげ図をつくりました。



中数 - 15

中数 - 16

葉月さんは、前ページの図3の箱ひげ図を比較して考えています。最大値と中央値は、低位置よりも中位置、高位置の方が大きいことから、葉月さんは低位置よりも中位置、高位置の方がより長い時間回ると判断しました。

次に、中位置と高位置の箱ひげ図を比較すると、箱が示す区間は高位置よりも中位置の方が短いことがわかりました。

このとき、箱が示す区間にふくまれているデータの個数と散らばりの程度について正しく述べたものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

- ア データの個数は中央値を中心とする全体の約半数であり、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が小さい。
- イ データの個数は中央値を中心とする全体の約半数であり、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が大きい。
- ウ データの個数は高位置よりも中位置の方が少なく、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が小さい。
- エ データの個数は高位置よりも中位置の方が少なく、データの散らばりの程度は、高位置よりも中位置の方が大きい。


[正答] (2) ア

- タブレット型端末を取り上げるなど、多くの問題が日常生活の場面と関連付けられるとともに、科学的に探究する場面から出題された。
- 天気図と実際の空模様を関連付けて考える問題や、モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験の計画について問う問題等が出題された。

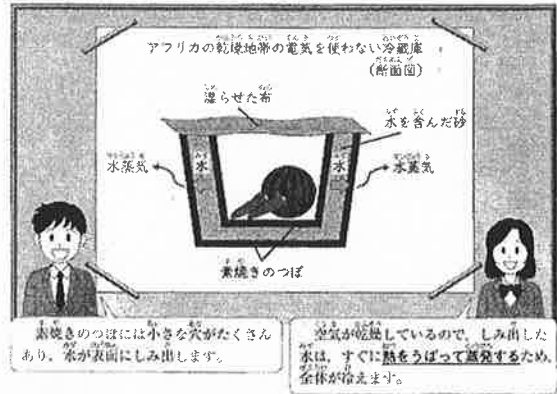
【特徴的な問題例】

水の状態変化についてのポスター発表を基にして、その発表の考察に対する根拠の不十分さを示す問題

7 水の状態変化について自学的に探究したことを、2つのグループが理科の授業でポスター発表しています。
(1)と(2)の各問いに答えなさい。




グループ1 水が水蒸気になるときの温度変化




(1) 下線部としくみが同じ現象を、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。

ア




かき氷をすくった金属のスプーンの温度が下がる

イ




ラムネ菓子を飲むと化学変化で口の中の温度が下がる

ウ



アルコールで手を消毒すると、手の温度が下がる

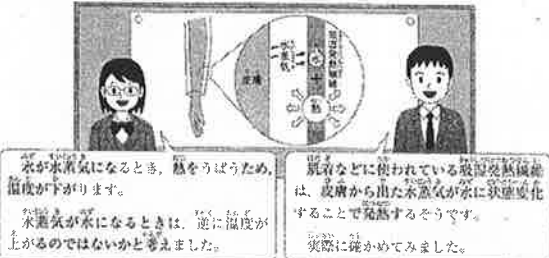
エ



氷に食塩をかけると0℃より温度が下がる

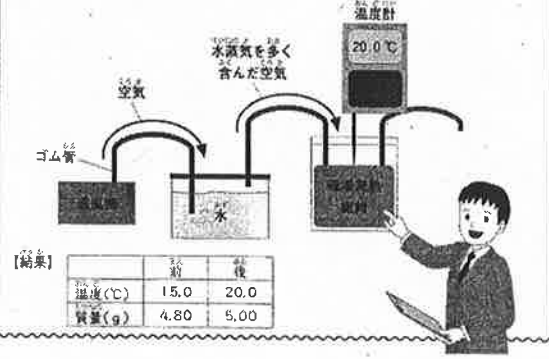
中問 = 20

グループ2 水蒸気が水になるときの温度変化



【課題】
水蒸気が水に状態変化することで、吸湿発熱繊維は発熱するか。

【実験】
① 下の図の後置で、水蒸気を多く含む空気を吸湿発熱繊維に満す前後で、温度が上昇するか確かめる。
② 実験の前後で吸湿発熱繊維の質量が大きくなるか調べること、水蒸気が水に状態変化したか確かめる。



【結果】

	前	後
温度(℃)	15.0	20.0
質量(g)	4.80	5.00

中問 = 21

[正答] (1).ウ

(問題の続き)



(2) 下線部に対して、どのように考えることが最も適切ですか。下のアからエまでの
中から1つ選びなさい。

- ア この実験だけで【考察】のように判断できる。
- イ この実験だけでは【考察】のように判断できないので、乾燥した空気では発熱しないことを確かめる必要がある。
- ウ この実験だけでは【考察】のように判断できないので、水蒸気の量を多くして、温度がさらに上昇することを確かめる必要がある。
- エ この実験だけでは【考察】のように判断できないので、既湿発熱繊維の量を多くして、温度がさらに上昇することを確かめる必要がある。

中理 - 22

[正答例] (2) イ

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の特徴

児童生徒質問紙 小学校：69問（増減なし）中学校：69問（増減なし）※R3との比較

- 多少の表現の差異はあるものの、小学校と中学校で同一の内容の質問がされている。
- SNSや動画視聴などの使用状況に関する質問、設定された場面におけるICT機器の活用状況に関する質問等が追加されている。

【追加された質問の例】

○ SNSや動画視聴などの使用状況について

- ・ 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか。

○ 自分を取り巻く人的な関わりについて

- ・ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
- ・ 困りごとや不安がある時に先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。

○ 読書に対する意識について

- ・ 読書は好きですか。

○ 自然に触れる機会について

- ・ 自然の中で遊ぶことや自然観察をすることがある。

○ 放課後や週末の時間の過ごし方について

- ・ 放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか。
(家で勉強や読書をしている。放課後子供教室や放課後児童クラブに参加している。地域の活動に参加している。学習塾など学校や家以外の場所で勉強している。習い事をしている。スポーツをしている。家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている。家族と過ごしている。友達と遊んでいる。)

○ 設定された場面の中におけるICT機器の活用状況について

- ・ 学校で、授業中に自分で調べている場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか。
- ・ 学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか。
- ・ 学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使っていますか。

○ 理科に関する意識について

- ・ 理科の勉強は好きだ。
- ・ 理科の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える。
- ・ 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。

学校質問紙 小学校：82問（△9問）中学校：80問（△11問）※R3との比較

- 多少の表現の差異はあるものの、小学校と中学校で同一の内容の質問がされている。
- 設問数は1割程度減っているものの、ICTを活用した校務の軽減、理科の指導方法についての項目等が追加されている。

【追加された質問の例】

- **新型コロナウイルス感染症の影響に関する項目**
 - ・（臨時休業等の日数を回答した学校に対して）家庭での学習としてどのようなものを行っていましたか。
 - ・前年度に、以下の学校教育活動をどのように実施しましたか。
（運動会〔体育祭〕・競技会・球技会、音楽会・合唱コンクール、学芸会・文化祭、遠足、芸術鑑賞会、職場見学、集団宿泊活動、授業参観・学校公開）
- **教育相談の体制に関する質問**
 - ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童〔生徒〕が相談したい時に相談できる体制となっていますか。
- **ICTを活用した校務の軽減に関する質問**
 - ・ICTを活用した校務の効率化を通じて、次の業務は軽減しましたか。
（児童〔生徒〕の出欠・遅刻に関する事務・家庭への調査等に関する事務・学校からのお知らせ・教職員等会議に関する事務・教職員の書類作成等その他の事務）
- **理科の指導方法に関する質問**
 - ・前年度に、児童〔生徒〕が観察や実験をする授業を1クラス当たりどの程度行いましたか。
 - ・前年度に、教科担任制を実施していましたか。
- **ICTを活用した学習状況に関する質問**
 - ・あなたの学校では、児童〔生徒〕一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を、授業でどの程度活用しましたか。
 - ・一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用させていますか。
- **調査結果の活用に関する質問**
 - ・令和3年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか。

○ 令和4年3月新規高等学校等卒業者の求人・求職・就職状況

令和4年3月末日現在（山口労働局調べより作成）

		合計	参考※				男子	女子
			対前年同期比		対前々年同期比			
			令和3年 3月末 現在合計	増減	令和2年 3月末 現在合計	増減		
A	県内 ハローワーク 受理数	5,589	5,570	0.3%	7,125	▲ 21.6%		
B	県内就職 希望者数	2,173	2,384	▲ 8.9%	2,600	▲ 16.4%	(1,399)	(985)
	県外就職 希望者数	406	483	▲ 15.9%	529	▲ 23.3%	(372)	(111)
	合計	2,579	2,867	▲ 10.0%	3,129	▲ 17.6%	(1,771)	(1,096)
C=A/B 求人倍率		2.17	1.94	0.23ポイント	2.28	▲ 0.11ポイント		
D	県内就職 者数	2,170	2,370	▲ 8.4%	2,588	▲ 16.2%	(1,392)	(978)
	県外就職 者数	405	481	▲ 15.8%	529	▲ 23.4%	(372)	(109)
	合計	2,575	2,851	▲ 9.7%	3,117	▲ 17.4%	(1,764)	(1,087)
E	県内 未内定 者数	3	14	▲ 78.6%	12	▲ 75.0%	(7)	(7)
	県外 未内定 者数	1	2	▲ 50.0%	0	-	(0)	(2)
	合計 未内定 者数	4	16	▲ 75.0%	12	▲ 66.7%	(7)	(9)
F=D/B	県内 就職 内定率	99.9	99.4	0.5ポイント	99.5	0.4ポイント	(99.5)	(99.3)
	県外 就職 内定率	99.8	99.6	0.2ポイント	100.0	▲ 0.2ポイント	(100.0)	(98.2)
	合計 就職 内定率	99.8	99.4	0.4ポイント	99.6	0.2ポイント	(99.6)	(99.2)
G	県内・県外 就職内定 比率	84.3	83.1	1.2ポイント	83.0	1.3ポイント	(78.9)	(90.0)
	県外 就職 内定 比率	15.7	16.9	▲ 1.2ポイント	17.0	▲ 1.3ポイント	(21.1)	(10.0)
※ 令和2年度は、採用選考開始時期が1か月後ろ倒しとなったことから、令和2年3月末現在の数値を参考値として掲載								
(注) 1. 男子欄及び女子欄の()内は前年同期の数値である。 2. A欄: 求人数は、山口県内のハローワークで受理した求人数である。 3. B欄: 就職希望者数は、学校又はハローワークの紹介を希望する者の数である。 4. C欄: 求人倍率は、Aの求人数/Bの就職希望者数(合計)である。 5. G欄: 県内・県外就職比率は、令和4年3月末日現在における就職内定者の合計2,575人に対する県内・県外就職内定者(2,170人、405人)の比率である。								

調査対象： 国公立(全日、定時制)、特別支援学校、専攻科のある学校で、自己就職を含まない就職希望者

令和4年度やまぐちの活力を支える高校生就職支援事業の概要

1 県内就職ガイダンス等充実事業

○ 地域産業魅力発見セミナー

地域に就職した卒業生や山口県に1ターン等した若者が、山口県や県内企業の魅力などについて生徒一人ひとりに語りかける座談会等を各学校において実施

対 象：県立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校に在籍する高校1・2年生及び保護者

○ 地域産業就職ガイダンス

就職に向けた意識の醸成を図るためのガイダンス等（オンライン面接への対応含む）を各学校において講師を招いて実施

対 象：公立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校、私立高等学校に在籍する高校3年生及び保護者

2 県内就職サポーター等配置事業

○ 就職サポーター [県立高校18人、私立高校4人]

生徒の希望を踏まえた求人開拓、情報提供、マッチング、個別面談を実施

※ 派遣校制度により、すべての学校等を支援する。

○ チーフ就職サポーター [3人：県東部、県中部、県西部]

求人情報等を集約し、各地域での共有化 ※ 就職サポーターの業務含む。

○ 県内就職促進統括マネージャー [1人：県中部]

県内企業情報の分析、連携機関との窓口一元化、広域マッチング

対 象：公立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校、私立高等学校

3 県内企業就職セミナー事業

○ 県内企業見学セミナー

県内企業の現場見学を行い、企業で働く人からのセミナーを実施

対 象：県立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校に在籍する高校1・2年生及び保護者

○ 県内企業就職説明会

高校1・2年生及び就職希望の高校3年生並びに保護者が、企業の採用担当等と直接面談を実施

対 象：公立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校、私立高等学校

開催日：6月14日(火)(下関)、6月17日(金)(岩国)、6月20日(月)(山口)

6月22日(水)(下松)、10月7日(金)(山口：未内定者に対する説明会)

※ 県内企業見学セミナーと県内企業就職説明会は、同日開催が可能

(例) 高校1・2年生及び保護者がバスを利用して、午前中は「県内企業見学セミナー」により、企業見学を行い、午後は「県内企業就職説明会」に参加し、県内事業所のブースを回り、県内企業についての情報を収集する。

4 県内企業訪問推進事業

求人開拓、応募前職場見学及び職場定着指導等のため、教員等による企業訪問を実施

対 象：県立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校、私立高等学校

※ 県立高森みどり中学校は職場定着指導のみ可

5 県内就職促進協議会

教員等と県内企業採用担当者が、教育内容や業務内容等についての情報交換を実施

対 象：公立高等学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校、私立高等学校

開催予定日・会場：

I 期

岩国・柳井地区 5月31日(火)岩国国際観光ホテル

周南地区 5月17日(火)ほしらんどくだまつ

山口・防府地区 5月10日(火)県庁職員ホール

宇部・山陽小野田地区 5月20日(金)ココランド山口・宇部

下関地区 5月26日(木)海峡メッセ下関

萩・長門地区 5月12日(木)萩市民館

II 期

県東部 6月7日(火)ほしらんどくだまつ

県中部 6月2日(木)県庁職員ホール

※ 公務員説明会を同時開催(県庁共用第2会議室)

県西部 6月10日(金)海峡メッセ下関

※ II期は、I期で参加できなかった企業が参加

県立高校の再編整備について

■ 「県立高校再編整備計画」

「令和3年度～令和6年度（2021年度～2024年度）実施計画」（R2.12）

○ 岩国高校広瀬分校、防府高校佐波分校、山口高校徳佐分校については、今後の入学者数の見込みを踏まえ、生徒募集の停止を検討します。

※ 各年度の実施分については、中学生に早期に情報提供する必要があることから、原則として当該年度の募集定員の発表前に公表します。

■ 現 状

（資料へ）

今後の入学者は、定員の1/2を満たすことが見込まれない状況

■ 実施時期

○ 令和5年度入学者選抜から生徒募集を停止する。

岩国高校広瀬分校・防府高校佐波分校・山口高校徳佐分校について

1 現在の状況

(1) 在籍状況

R4.5.1時点

	学年 (入学年度)	1年 (R4)	2年 (R3)	3年 (R2)	合計
広瀬分校	入学定員	25	25	25	75
	在籍者数	12	4	4	20
佐波分校	入学定員	35	35	35	105
	在籍者数	24	12	15	51
徳佐分校	入学定員	35	35	35	105
	在籍者数	9	11	9	29

(2) 地元中学校の卒業生数・進学状況の推移

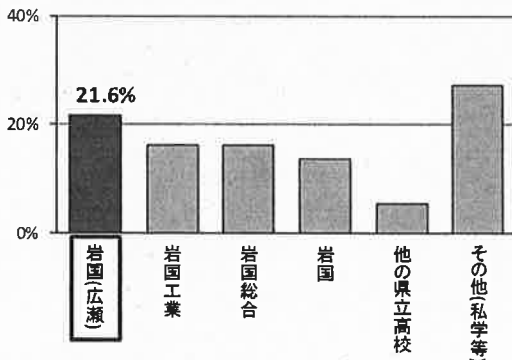
		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	
広瀬	旧錦町・旧美川町の中卒者数	37	34	25	29	27	19	20	22	20	18	8	11	9	14	14	
	旧錦町・旧美川町からの入学者数	12	11	8	11	8	9	5	11	8	10	3	2	0	3	5	
	旧錦町・旧美川町からの進学率	32.4%	32.4%	32.0%	37.9%	29.6%	47.4%	25.0%	50.0%	40.0%	55.6%	37.5%	18.2%	0.0%	21.4%	35.7%	
佐波	旧徳地町の中卒者数	/					51	34	44	34	32	36	30	41	38	36	39
	旧徳地町からの入学者数						8	6	7	3	4	4	2	12	2	3	5
	旧徳地町からの進学率						15.7%	17.6%	15.9%	8.8%	12.5%	11.1%	6.7%	29.3%	5.3%	8.3%	12.8%
徳佐	旧阿東町の中卒者数	56	50	67	50	43	42	38	44	44	40	38	32	23	34	24	
	旧阿東町からの入学者数	10	5	11	13	9	6	10	4	6	3	5	2	1	1	5	
	旧阿東町からの進学率	17.9%	10.0%	16.4%	26.0%	20.9%	14.3%	26.3%	9.1%	13.6%	7.5%	13.2%	6.3%	4.3%	2.9%	20.8%	

※ 分校化：平成20年度〔広瀬分校・徳佐分校〕、平成24年度〔佐波分校〕

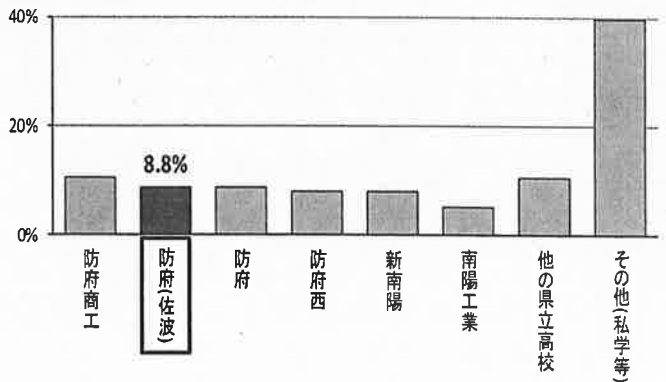
(3) 地元中学生の動向（中卒者数に対する進学者数の割合）

※ R2.3~R4.3卒

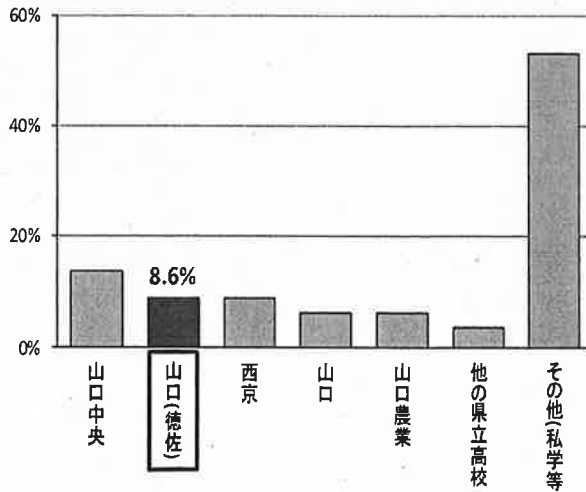
■ 旧錦町・旧美川町（広瀬分校）



■ 旧徳地町（佐波分校）



■ 旧阿東町（徳佐分校）



2 今後の見込み

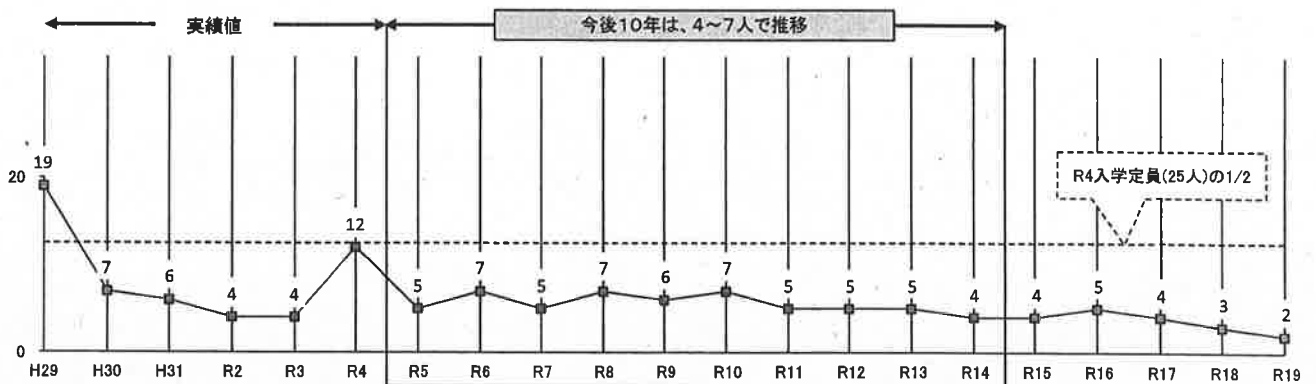
(1) 地元中学校の卒業生数

R4. 5. 1 時点

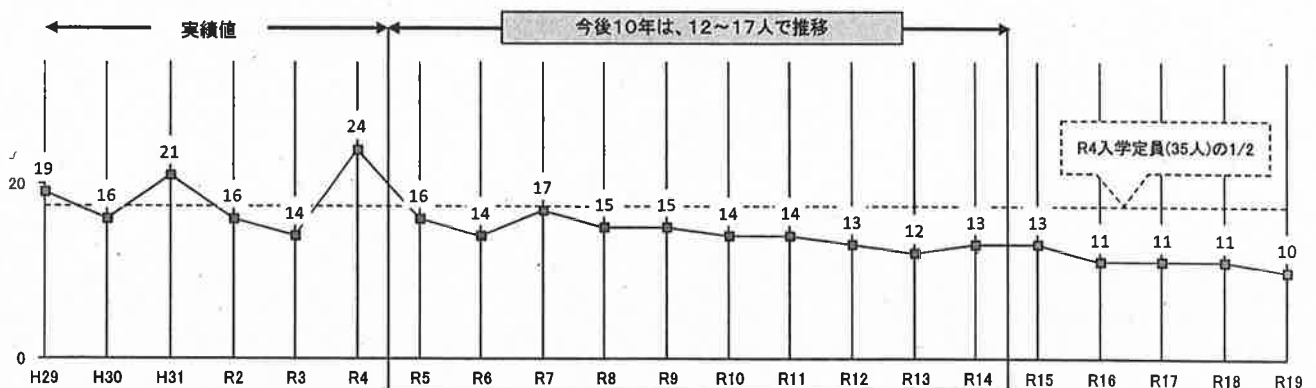
分校名	旧町名	R4. 3卒	5. 3卒	6. 3卒	7. 3卒	8. 3卒	9. 3卒	10. 3卒	11. 3卒	12. 3卒	13. 3卒	14. 3卒	15. 3卒	16. 3卒	17. 3卒	18. 3卒	19. 3卒
		現高1	現中3	現中2	現中1	現小6	現小5	現小4	現小3	現小2	現小1	5歳児	4歳児	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児
広瀬	旧錦町	14	7	13	8	11	9	14	7	7	9	4	5	7	3	3	3
	旧美川町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	1	0	1	1	0
佐波	旧徳地町	39	39	22	40	29	32	16	13	16	15	18	20	12	10	9	12
徳佐	旧阿東町	24	18	24	21	19	23	11	12	13	15	5	6	4	7	9	4

(2) 入学者数

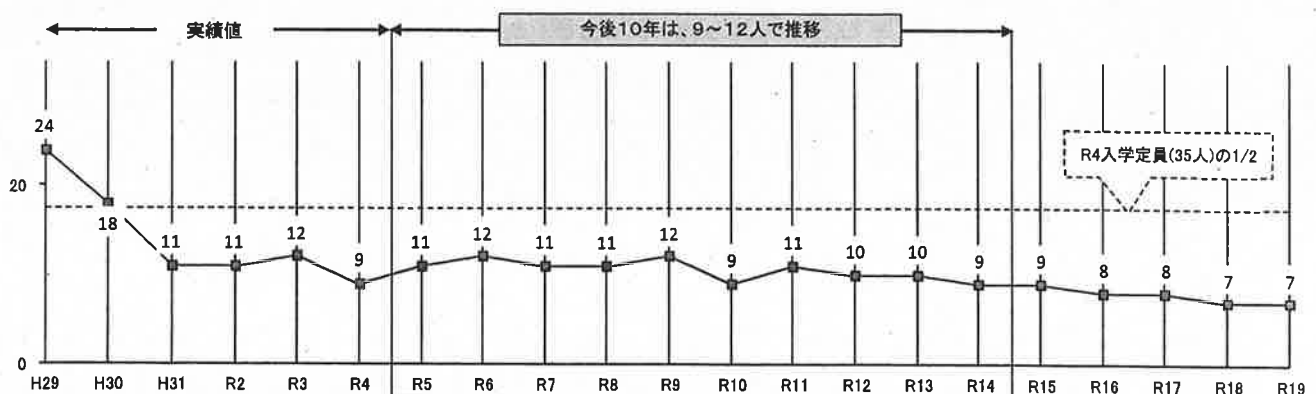
■ 広瀬分校



■ 佐波分校



■ 徳佐分校



山口県教育支援委員会委員の任命について

山口県教育支援委員会規則（昭和53年山口県教育委員会規則第4号）
第3条第2項の規定に基づき、山口県教育支援委員会の委員を別紙のとおり任命する。

令和4年（2022年）5月26日

山口県教育委員会

山口県教育支援委員会委員（案）

	氏名	所属・役職	区分	備考
1	福 田 修 三	(財)山口県肢体不自由児協会 理事	学識経験者	再任
2	西 川 浩 子	山口県LD親の会「ほっぺ」 会長	学識経験者	再任
3	空 田 朋 子	山口県立大学 看護栄養学部 助教	学識経験者	新任
	田 中 マキ子	山口県立大学 前副学長（大地共創担当） 兼 地域共生センター 前所長	学識経験者	前任
4	藤 田 久 美	山口県立大学 社会福祉学部 教授	学識経験者	再任
5	松 本 正	社会福祉法人ひらきの里 障害者支援施設ひらきの里 施設長	学識経験者	再任
6	松 岡 勝 彦	山口大学教育学部 教授	学識経験者	再任
7	綿 野 友 美	よしとみクリニック 院長	医師(小児科)	再任
8	田 原 卓 浩	たはらクリニック 院長	医師(小児科・内科)	再任
9	渡 広 子	クボクリニック 精神科医	医師(精神科)	再任
10	池 田 卓 生	鼓ヶ浦こども医療福祉センター 耳鼻咽喉科医	医師(耳鼻咽喉科)	再任
11	吉 村 佳 子	小郡第一総合病院 眼科医	医師(眼科)	再任
12	山 縣 千 恵	山口県国公立幼稚園・こども園連盟 会長 (周南市立菊川幼稚園 園長)	関係教育機関	新任
	松 本 寿 子	山口県国公立幼稚園・こども園連盟 前会長 (下関市立桜山幼稚園 園長)	関係教育機関	前任
13	佐 野 太	(公財)山口県私立幼稚園協会 副理事長 (学校法人小野田めぐみ学園 小野田めぐみ幼稚園 理事長兼園長)	関係教育機関	再任
14	肥 塚 新 一	山口県保育協会 (幼保連携型認定こども園 社会福祉法人 聖母園 園長)	関係教育機関	再任
15	清 永 直 志	山口県特別支援教育研究連盟 副会長 (下関市立桜山小学校 校長)	関係教育機関	再任

※ 任期 令和4年6月1日～令和6年5月31日

山口県教育支援委員会規則

(趣 旨)

第1条 この規則は、附属機関の設置に関する条例（昭和28年山口県条例第51号）第2条の規定に基づき、山口県教育支援委員会（以下「委員会」という。）の組織、運営その他必要な事項について定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、山口県教育委員会（以下「教育委員会」という。）の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 県立の特別支援学校に就学しようとする者並びに在学する児童及び生徒のうち、当該学校において障害の種類及び程度を判定することが困難なものについての教育支援に関すること。
- (2) 障害の種類及び程度を判定することが困難であるとして市町教育委員会から依頼のあった者についての教育支援に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、障害のある児童及び生徒の教育支援について教育委員会が特に必要と認める事項に関すること。

(組 織)

第3条 委員会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- (1) 学識経験を有する者
- (2) 医師
- (3) 関係行政機関の職員
- (4) 関係教育機関の職員

(任 期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第5条 委員会に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員が互選する。

3 会長は、会務を総理し、委員会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会 議)

第6条 委員会の会議（以下「会議」という。）は会長が招集する。

2 会議の議長は、会長をもって充てる。

3 会議は、委員の半数以上が出席しなければ、開くことができない。

4 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(部 会)

第7条 委員会に、委員会から付議された事項を調査審議するため、次に掲げる部会を置く。

- (1) 視覚障害部会
- (2) 聴覚障害部会
- (3) 知的障害部会
- (4) 肢体不自由部会
- (5) 病弱・虚弱部会

2 部会は、委員会の委員で組織する。

3 部会に属すべき委員は、委員会の会長が指名する。

4 前2条の規定は、部会について準用する。この場合において、これらの規定中「会長」とあるのは「部会長」と、「副会長」とあるのは「副部会長」と読み替えるものとする。

(調 査 員)

第8条 委員会に、特別の事項を調査するため必要があるときは、調査員を置くことができる。

2 調査員は、関係行政機関又は関係教育機関の職員のうちから、教育委員会が任命する。

3 調査員は、当該特別の事項に関する調査が終了したときは、解任されるものとする。

(庶 務)

第9条 委員会の庶務は、教育庁特別支援教育推進室において処理する。

(そ の 他)

第10条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営について必要な事項は、会長が委員会に諮って定める。

